

総合2023 自分軸を考える～なに、なぜ、どうする～

第9回 6月22日(木) 13:00～14:30

## 琉球語、消滅危機言語、 言語の多様性



photo by Ken Morisawa, 2017

### 山田真寛氏

国立国語研究所・准教授

**会場:津田塾大学小平キャンパス特別教室**

#### <講師プロフィール>

2005年国際基督教大学卒業、2010年米国デラウェア大学博士課程修了(Ph.D. in Linguistics)。京都大学、広島大学、立命館大学での任期付き研究職を経て2018年から国立国語研究所准教授、2022年から同研究所「消滅危機言語の保存研究」リーダー。「言語復興の港」プロジェクト代表、主な著書は『ディラブディ』(ひつじ書房)などの琉球諸語の絵本。

#### <担当スタッフより>

「ぶーる ばた んく た はいてい しゃな きたんとうな」。この文章の意味を、皆さんは理解できますか？これは「幸せな一日になりました」という意味の与那国語です。大昔に日本語の祖先と別れた琉球語の一つである「どうなんむぬい(与那国語)」を話す人々は、「日本人」や「日本語」という概念とどのように向き合ってきたのでしょうか。そうした人々について研究し、頻繁にフィールドワークに出かけていらっしゃる山田さんのお話から、“言語”がもたらすアイデンティティについて、ぜひ考えてみましょう。